

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 火星における天気予報の実現と水環境マップの構築
2. 研究代表者： 黒田 剛史（東北大学 大学院理学研究科 助教）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、火星全球からサブキロメートルまでのスケール間結合モデリングにより火星ダストストーム予測システムを構築し、世界初の火星天気予報実証を図るとともに、水環境マップの構築や火星水環境進化過程の解明などを通し、将来の火星探査計画へ貢献することまでを目指す研究である。

フェーズ1では、ダストに着目した火星天気予報、水環境の再現について、複数のモデルおよび探査機による大気及び地表観測データを駆使した多彩な研究を展開し、目標も明確で説得力があった。

フェーズ2では、世界最高分解能の火星客観解析データの作成、LES モデルを用いた境界層過程の改良、砂嵐予測システムの構築を計画し、ダスト予測システムの完成と活用、水環境マップの構築と活用という目標が立てられている。雲微物理過程の導入や水環境マップの確立により、MMX ミッションへの貢献に期待する。

以上